

ちょばら

みんなで楽しく気軽にちょっとずつのボランティア

vol.68

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



笑顔はじけるドリームまつり

11月8日・9日、大刀洗町ドリームまつりが盛大に開催されました。各ボランティアグループ・ボランティアセンター・各団体が出店し、たくさんの町民の皆さんと楽しくおまつりを過ごしました。中学生ボランティアも各イベントで大活躍。地域の皆さんと交流し、顔はじけるおまつりとなりました。

01-笑顔はじけるドリームまつり

02-誰かの役に立つて気持ちの
いいことだよね
ボランティア入門講座報告

03-菊池校区秋祭り

04-ボランティア連絡協議会の ほっこり井戸端サロン報告

みんなで子どもの成長を見守ろう「放課後等デイサービスってどんなところ?」
・折り鶴会 ボランティアのカタチ
「今できることを私たちのペースで」
・編集後記

誰かの役に立つって 気持ちのいいことだね

「私もボランティアしてみたい」。小学校のボランティア学習の中での子どもたちの一言から始まった企画です。ボランティア3団体に協力を依頼し、2つの体験を計画、町内の小学生が参加しました。

お話し会をやってみよう！

日 時：7月29日、30日

場 所：大堰保育園

協 力：青い鳥文庫

大堰保育園の子どもたちへのお話し会を企画。
自分たちで絵本を選び、構成を考えました。

手遊びの練習中



青い鳥文庫さんから
読み聞かせのコツを
聞いたよ

お互いにアドバイスしたよ



大堰保育園の子どもたちも大喜び

ボランティアをやってみて・・



大堰小 大場さん

ボランティアは達成感があるし、笑顔になってくれる人がいる。ぜひみんなもやってみてほしい。僕は物や人の見かたが変わりました。

子どもたちの活動がみんなを笑顔にしてくれました。「ボランティアはステキだな」と思いました。また声をかけてください。

子どもたちが「みんなに喜んでもらえるお話し会にしたい」とがんばってくれたから大成功！



保護者より



青い鳥文庫 山内さん

ボランティアってどんな活動でしょうか？

私が思うボランティアは、困っている人を助けるというような一方通行のようなものではなく、「心の豊かさを相互に実現していくもの」だと思います。

今回の企画では、体験をした子どもたちだけでなく、その場にいたたくさんの方が「心の豊かさ」を感じられた講座になったと感じました。

オリジナルの動画をつくろう

日 時：8月16日、17日、18日

場 所：おおぞら保育園

協 力：動画作成グループ「ドリーム」、
はりねずみの会

布絵本を使ったお話づくり、撮影、編集をして動画を作成しました。おおぞら保育園での上映会では園児に喜んでもらえるよう手遊びを交えながら披露しました。

動画制作中！



はりねずみの会さんから布絵本の動かし方を教えてもらったよ



おもしろかった！と喜んでもらいました



楽しんでもらえるよう手遊びをしたよ

菊池校区秋祭り

菊池校区センターより、「子どもたちにも地域の一員としてお祭りを盛り上げてもらいたい」との声を受け、ボランティアセンターが菊池小学校・大刀洗中学校のボランティア募集に協力しました。

日 時 : 9月20日 (土)
主催・場所 : 菊池校区センター
参加者 : 小学生28名、中学生8名

主な活動として、会場設営や出店の手伝い、ゴミ箱の回収などを行いました。

みんなで会場設営をしました



地域の方と出店のお手伝い



パック詰めのお手伝い



枝豆の準備をしています



参加したみなさんの声



友だちとボランティアをしてみて、楽しく仲を深められる活動だと知りました。またやりたい。

菊池小 山田さん



やってみて楽しかった。いろいろな人と協力すること、関わることができてよかったです。

大刀洗中 佐藤さん



子どもが張り切って手伝っていて、びっくりしました。成長を感じました。

保護者より



たくさんの中・小学生が盛り上げてくれて素晴らしい秋祭りだった。また来年もよろしく！

北鵜木 大浦さん

会場では「よかった」「ありがとう」「自分もやってみたい」などの声がたくさん聞かれました。これは、ボランティアの何よりの魅力、たくさんの方との出会いや関わりのおかげです。子どもたちもお祭りという楽しい場で、参加しやすい活動だったのではないでしょうか。

今後も、菊池校区以外にもたくさんのきっかけづくりを、地域の皆さんとともに創っていけたらと思いました。

ボランティア連絡協議会の
ほっこり
井戸端サロン

誰でも・気軽に

テーマ：みんなで子どもの成長を見守ろう
放課後等デイサービスってどんなところ？

ゲスト：有限会社 大智曾 児童デイサービス「きらきら」管理者 安武 千佳さん

昨年のボラ連設立 20 周年記念事業「ほっこり祭り」に参加していただき、その時の縁で大刀洗町に「放課後等デイサービス（以下放デイ）」がたくさんあることを知りました。

地域の一員として、もっとより知り理解を深めるために、「放デイってどんなところ？」という観点から企画、たくさんのお話を聞きました。

放課後等デイサービスとは、障害のある子どもや発達に課題のある小学生から高校生までの子どもが学校の授業終了後や学校休業日に通うことができる福祉サービスのこと。

さまざまな特性を持つ子どもたちの生きる力の育成と育ちの充実、地域とつながり、安心して暮らせる基盤づくりを目標に、子どもたちの自主性を大切にしつつ、ひとりひとりに配慮して、多くの体験学習を取り入れた活動をされていることに感動しました。最近よく耳にするようになった「インクルーシブ社会」。みんなが平等に尊重され、すべての人が共生できる社会が早く実現することを願うばかりです。



ボランティアのカタチ 「今できることを私たちのペースで」
折り鶴会が聖ヨゼフ園で活動を再開

折り鶴会は平成20年から聖ヨゼフ園を訪問し、入所者の方々と折り紙で交流をしてきました。折り鶴会の訪問を心待ちにされていた入所者の方々でしたが、コロナ禍で訪問が休止となり、それ以降つながりが途絶えていました。

今回活動再開の依頼があり、「自分たちのペースでやりましょう」と活動を再開することに。再開のあいさつに作品をプレゼントしました。

メンバー一同張り切っています。入所者の方と顔を合わせながら作品を作って、できあがったときの喜びは格別です。



代表 宮寄さん



編集後記 11月7日立冬を迎え、今年もジングルベルの音色が聞こえてきました。年をとるほど1年が速く感じるようになりました。いやあ、納得。



代表 福村 宮生
福村 千代美
宮崎 誠